

高精度ニーズ対応にキタムラ機械・マイセンターを導入 初の2面拘束でツーリングはユキワ精工製を販売店が推奨



キタムラ機械のマイセンター導入時に初めてユキワ製ツーリングを装着。高精度ニーズに対応するきっかけに



ひと仕事終えたグリーンG1チャック

グリーンG1チャックを併用
スパーG1チャック

「初の2面拘束主軸であり、現場に据えられ、量的拡大にも配慮された。」

はアルミは支給、鉄は購入することが多い。短期対応に努め、基本的に2直体制で臨んでいる。017年に設備したキタムラ機械のマイセンター。ユキワ精工のツーリングは、キタムラ機械のほか、アタッチメントのほかに、ボドリルにも装着し、活用している。このほど、2台目となるロボドリルが現場に据えられ、量的拡大にも配慮された。

「ビビリがなく、切削音に変化も。鉄の荒加工では工具寿命が伸長」

野口代表は「祖父が昭和40年にプレス金型で起業し、私の父が引き継いだ。私は2010年、30歳で半導体関連部品の加工が多。被削材はアルミが中心だが、最近では鉄も増えきている。取引企業は前職の企業のみ。いわゆる「協力工場」という立場だ。部品数は多様で、1ロットが多い時もある。少ない時も毎月と違う。括弧はほぼ量と言っている。すべて図面付きで、材料



野口代表

被削材はアルミ中心だが、鉄も増加傾向に
「部品数は多様。1ロットは多い時もある。少ない時もある」



丸高製作所の主要設備

ユキワ精工ユーザー訪問

半導体関連部品を手がける丸高製作所(東大阪市)

設備は段取り替えが容易で、操作性の良さを基準に選択

「設備はOKKのほか、キタムラスパーG1チャックで構成。設備は、段取り替えが容易で、操作性の良さを基準に選択してきただけだが、精度を求められる部品加工が増える。始め、直接、そのニーズに対応して導入したのが2017年に設備したキタムラ機械のマイセンター。ユキワ精工のツーリングは、キタムラ機械のほか、アタッチメントのほかに、ボドリルにも装着し、活用している。このほど、2台目となるロボドリルが現場に据えられ、量的拡大にも配慮された。」



速くキレイに削れるecoなホルダ

精度をとことん突き詰めると、コレット式に迫り着く
ツーリングシステム
グリーンG1チャック

YUKIWA ユキワ精工株式会社

